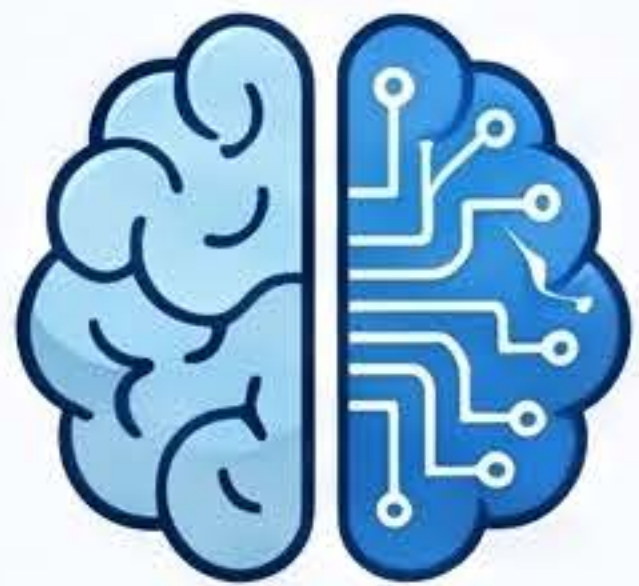


Grok 4.7：長時間・複雑業務に特化した実務派モデルの全貌



最大50万トークンの広大なコンテキスト

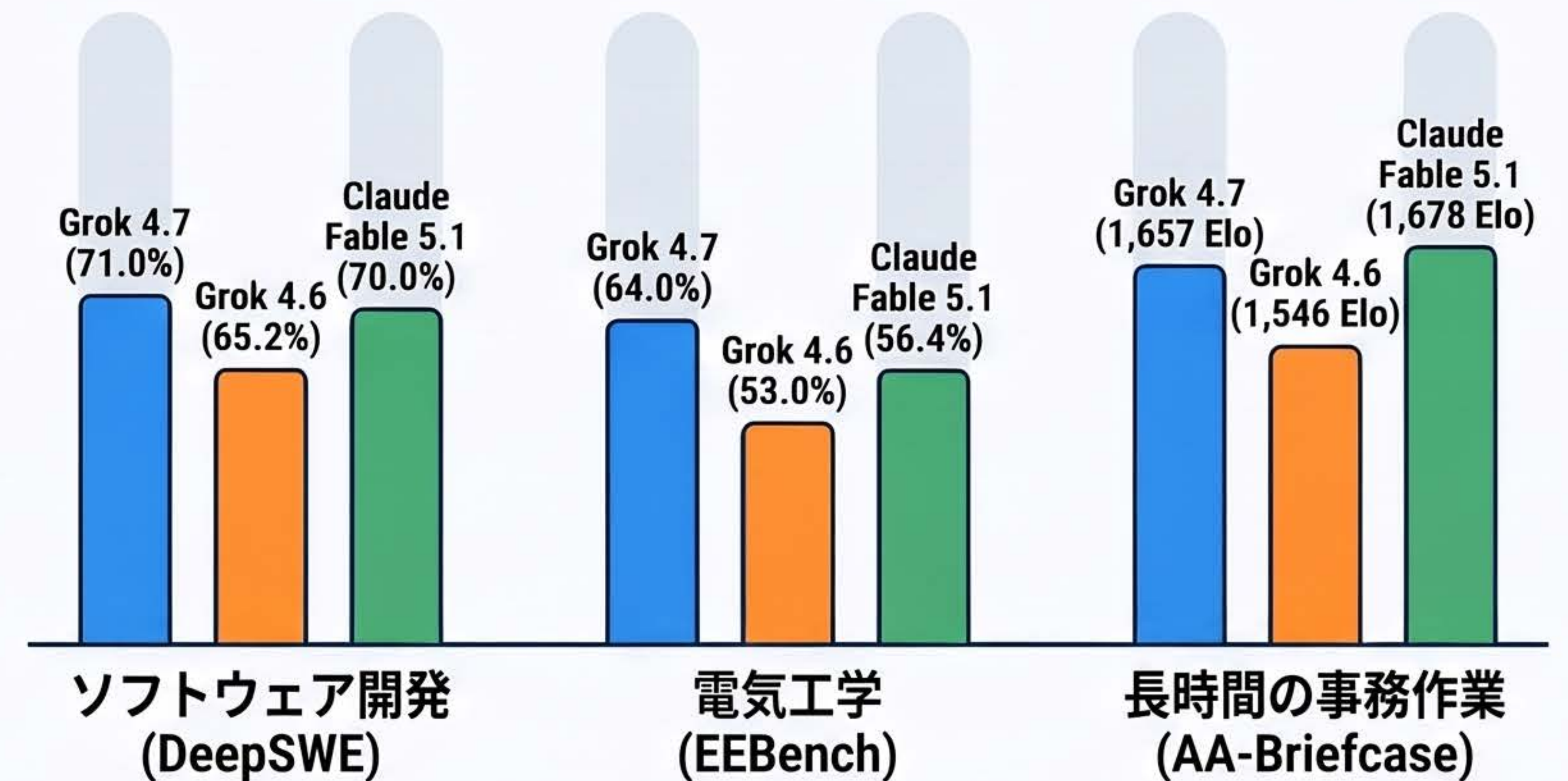
大量の資料や複雑なコードを一括で読み込み、文脈を維持したまま処理が可能。



知識業務と工学分野で顕著な進化

知識のスケールドを競うべき顕著な進化。
電気工学（EEBench）や実務成果物作成（GDPval-AA）で4.6を大きく上回る。

競合モデルとの性能バランス



xHigh設定時の主要ベンチマーク（法務や工学で強み、一部領域では競合が優位）。

実務導入のポイントとコスト構造



単価は維持、しかしトークン消費量は**2倍以上**
API単価は4.6据え置きだが、1課題あたりの出力トークン数は約2.1倍に増加。



難易度に応じた「推論設定」の使い分け
課題の難易度に応じて切り替える運用が効率的。



日本語品質と仕上げ能力は「要検証」
初稿作成やデータ加工には有望だが、日本語の自然さや最終的な仕上げには課題が残る。